

DDR 自走AIロボが接客

大垣西濃信金で実証実験

大垣市恵比寿町の大垣西濃信用金庫本店で8日、自律走行人工知能(AI)ロボットを活用した接客業務の実証実験が始まった。藤田浩三代表が個人事業で経営するITコンサルティング、DDR(同市津村町)とシステム開発の合同会社4DPocket(ポケット、同市今宿)が行うもので、高齢の来店客が多い金融機関で行うことで高齢者向けのノウハウ蓄積を図る。10日まで。

ロボットは「temi(テ



接客業務の実証実験で案内を担うテミ(左)。目的地まで自動走行で案内する＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本店

ミ)」。米国のメーカーが製造し、日本では旅行大手エイチ・アイ・エスのロボ

ット開発・販売子会社が総代理店となっている。高さ1.5で、実験では搭載したタッチパネルから発券機や融資窓口など行きたい場所を指示すると、目的地まで自動走行で案内する。経営相談の相談室にも

案内し、相談室から相談を受ける大垣ビジネスサポートセンター(ガキビズ)とつないでビデオ通話によるオンライン相談も行う。今回は標準機能だけを使うが、テミには機能を追加できることから実験を基に必要な機能を検討する考え。業務の効率化や新型コロナウイルス感染症対策も期待できるといい、藤田代表は「すでに行き先を目的

別にしてほしいといったご意見を頂いている」と手応えを口にした。